

オアシス21

No. 112

令和8(2026)年
8月

福祉にいがた 第886号(8~16面)

CONTENTS

巻頭特集

ねんりんピック、 埼玉大会へ意欲！(2・3面)

- 新企画「こちら県社協～私たちの仕事、紹介します」
- 県社協 令和7年度事業実施報告



絵「コブダイ」 作・堀井 銀次(柏崎市)

作品メモー「日本海にいる魚」をテーマに描いてもらった作品。色鮮やかに描かれたコブダイ。
こんなコブダイが泳いでいれば楽しいと思う作品。(社会福祉法人ロングラン)

▼ダンススポーツ（5月・新潟市）



▼弓道（5月・弥彦村）



▲ソフトボール（5月・糸魚川市）



▲剣道（6月・上越市）



▲ゲートボール（5月・新発田市）



▲ソフトバレーボール（5月・長岡市）



▲バウンドテニス（5月・魚沼市）

にいがた ねりんピック 熱戦譜

いざ「彩の国」へ!!

ソフトテニス

まずは初戦突破を

ふだんは長岡の中越クラブに所属して主に土日に練習しています。ねりんピックには今回初めて参加します。団体戦のメンバーには初めて



新潟県チーム監督兼選手
西脇範明さん（長岡市）

一緒にプレーする人もいて、まだよく分からない部分もあるのですが、9月以降に本格的な練習に取り組む予定です。まずは初戦突破が目標です。

グラウンドゴルフ

楽しむのを第一に

糸魚川チームは昨年に続いて2大会連続での出場になります。昨年は女子の部で10位台に2人が入る好成績でしたが、男子の私は50位でし



糸魚川チーム選手
室橋喜一さん（糸魚川市）

た。今回はそれを上回る結果を目指したいですね。そして何よりも、全国から集う仲間たちと楽しむことを第一にプレーしたいと思います。

健康マージャン

目指すは全国優勝

マージャン歴は50年以上。「健康マージャンの会」には定年退職後入会し15年になります。「健康」がつかう方は文字通り健康的でマナーにも厳



ながおか健康マージャンの会選手代表
金澤壽一さん（長岡市）

しく、脳を活性化するのに有効です。ねりんピックは今回が初めての出場。実力者がそろっており、団体戦、個人戦とも優勝を目指します。

第31回にいがたねりんピック 競技成績 (1位のみ)

区分	種別			1位	
卓球	新潟県	男	60歳以上	田代 盛一	
			70歳以上	竹内 芳夫	
		女	60歳以上	佐藤 みさ子	
			70歳以上	開発 ます子	
		新潟県混合ダブルス		田辺 輝男	村山 範子
	新潟市	男	60歳以上	吉沢 健治	
			70歳以上	上村 秀夫	
		女	60歳以上	竹内 登久子	
			70歳以上	小林 園江	
		新潟市混合ダブルス		加藤 三治	宮下 弘子
テニス	新潟県	男	60歳以上	佐々木 浩太郎	長川 敏和
		女	70歳以上	藤田 行雄	松川 正則
	新潟市	女	60歳以上	佐藤 美佐子	増田 さちえ
		男	60歳以上	松野 陽一	伊藤 孝幸
			70歳以上	加藤 吉次郎	斎藤 隆
		女	60歳以上	小柳 洋子	近藤 美香
ソフトテニス	新潟県	男	60歳以上	西脇 範明	木嶋 弘明
		女	60歳以上	斎藤 みよ子	益田 とも子
		混合		吉田 正勝	中川 なおみ
	新潟市	男	60歳以上	高橋 啓二	五十嵐 孝
		女	60歳以上	堤 恒子	佐藤 裕子
		混合		農人 弘一	農人 玲子
ソフトボール			新潟ファルコンズ		
ゲートボール			津南		
ペタンク			妙高A		
ゴルフ	男	60歳以上	齋藤 一則		
		70歳以上	加藤 政彦		
		女性の部		清水 修子	
		総合の部		平山 亨	
弓道		新潟県	鈴井 幸子		
		新潟市	小野寺 優子		
剣道		60歳未満	宮田 泰		
		70歳未満	高橋 昇司		
		70歳以上	遠山 正宣		
		女性の部	石川 美奈子		
ソフトバレーボール			ブル刈羽		
ダンススポーツ		スタンダード	土田 孝雄	笠原 一子	
		ラテン	品田 功	小山 弘子	
バウンドテニス			小川 輝男	野澤 好	

埼玉全国大会
新潟県選手団

13種目に81人参加

最高齢は男女共に88歳

11月に埼玉県で開かれる「ねりんピック彩の国さいたま2026」の新潟県代表選考を兼ねた「にいがたねりんピック」(主催・新潟県社会福祉協議会、共催・新潟県、新潟市など)が、

5月から県内各地で開かれ、埼玉大会に出場する新潟県選手団、13種目の81人が確定しました。
新潟県選手団には県内21市町村から参加し、平均年齢は71・73歳。最高齢は男

女共に88歳です。
「ねりんピック彩の国さいたま2026」は11月7日から10日まで、埼玉県内各地でスポーツや文化などの交流大会が開かれます。スポーツ交流大会は卓

球、テニス、ソフトボールなど10競技、ふれあいスポーツ交流大会はグラウンド・ゴルフ、太極拳、サッカーなど16競技、文化交流大会は囲碁、将棋、俳句、健康マ

ジャンが行われます。
総合開会式は11月7日、熊谷市の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で、約1万5000人が参加して行われる予定です。



第38回全国健康福祉祭埼玉大会
ねりんピック
彩の国さいたま2026
咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国
令和8年11月7日(土)〜10日(火)

燕市で誕生し、今年で四十六年目を迎えた「飛燕太鼓保存会」。
その始まりや現在の活動について、会長である杉山さんにお話を伺いました。

和太鼓の可能性を広げて、 楽しさを伝える「飛燕太鼓保存会」。

飛燕太鼓保存会 会長 杉山 博人さん

若者が誇りを持てる行事を。
飛燕太鼓誕生のきっかけ。

飛燕太鼓の始まりは昭和五十五年。
地元で毎年開催される「燕市民祭」に、
若者が誇りを持って取り組めるような
行事を増やそうと考え始めたのがきつ
かけです。その後、公募によって集まっ

た十四名のメ
ンバーによつ
て、飛燕太鼓
は立ち上げら
れました。翌
年、燕市文化
会館でオリジ
ナル曲の『無
限』を初めて
披露しまし
た。この曲は、
日本海太鼓の

創始者である竹田
満先生に作曲して
いただいた曲。竹

田先生には『飛燕囃子』や『あやめ物語』
など、今も受け継がれている曲も作っ
ていただきました。結成後は、「燕市民
祭」をはじめ、地域のイベントや企業の
行事などと呼んでいただいていたので、活動を



結成当初のイベントや発表会で演奏していた時の様子

続けていました。
現在は子どもか
ら大人まで、約二
十名で活動して
います。大人の中
には六十代もい
ますよ。水曜日と
金曜日の週二回
の練習、そして月
に一、二回イベン
トに出演してい
ます。

国内外で演奏を披露。 新たなコラボレーションも。

過去には県外のみならず、海外で演奏させていただく機会もありました。燕市の姉妹都市であるアメリカのシェボイガン市や韓国、国内では国民文化祭や、東京オリンピックのイベントなど、大きなイベントに出演させていただいたことも。様々な場所での演奏を通して、県外の和太鼓の団体の方とも交流を深めることができました。

近年、保存会のメンバーの世代交代



シェボイガン市で行われたイベントの様子

もあり、ドラムやギター、ピアノなど、様々な楽器とコラボレーションした演奏を披露することも増えました。地域に根ざし伝統を継承することを大切にしながらも、新しいことに挑戦して演奏の幅を広げています。このステージがきっかけで、入会してくれた方もいますよ。今年の三月に行われた、四十五周年記念公演でも、これまでコラボレーションさせていただいたアーティストの方々と一緒に演奏させていただきました。



ドラマーのhilanさんとのコラボレーションも

和太鼓をもっと身近に。 誰でも体験できる機会を。

飛燕太鼓の演奏を見るだけではなく、実際に叩いてもらうことも大切だと思っています。四十五周年記念公演の時には、来てくださった方に向けて

和太鼓の体験会も行いました。この体験会をきっかけに、以前飛燕太鼓に所属していた人が復帰してくれたり、新しいメンバーが入会してくれたりしました。毎月一度は太鼓の体験会を開くようにしていて、気軽に和太鼓を体験できる機会も作っていますよ。体験会では、叩き方やフォームを気にせず、とにかく楽しんで叩いてもらっています。楽譜が読めない未経験の方でも大歓迎です。叩きやすいように、身近な言葉をリズムに置き換えて、太鼓を叩いてもらっています。体験に来られた方からは「いい汗をかいた」と言ってもらえるくらい、ちょっとした運動にもなると思っています。

楽しむことを大切に。

四十六年目を迎えて、今後活動も続けていくには、まずは楽しむことが大事かなと思います。週に二回練習に来て、メンバーと練習の合間に他愛のないことを話して、少しでも心が元気になれば、続けている意味があると思うんです。今、このメンバーで楽しく活動している姿を見て、「和太鼓をやってみようかな」と思ってもらえたら嬉しいです。未経験の方はもちろん、どんな年齢でも楽しく挑戦ができると思うので、興味があればまずは体験に来てください。メンバー一同、お待ちしております。



学びふれあい地域の力に



「西洋音楽の魅力」の講義に熱心に耳を傾ける受講生たち
11月5日・新潟ユニゾンプラザ多目的ホール

令和8年度講座にぎわう

県内3会場に200人

防災から文化まで幅広く

シニア世代が共に学びながら交流を深める「シニアカレッジ新潟」（主催・県社会福祉協議会）の令和8年度の講座が新潟、長岡、上越の3会場で4月下旬から開かれています。

3会場合わせて約200人が参加して、11月中旬までの間、地域づくり、防災、健康、認知症の対応や介護の基礎、終活と相続、デジタル活用、新潟県の歴史など幅広い分野を学んでいます。

シニアカレッジは平成元年度（1989年度）に「新潟県高齢者大学」としてスタート。1万人を超える卒業生を輩出しています。これまで2年制でしたが、令和8年度から1年制になりました。

教養を深めると同時に仲間づくりの場としての役割もあり、卒業後は地域活動やボランティア活動などで活躍している人もたくさんいます。

新潟は新潟ユニゾンプラザ、長岡はアトリウム長岡、上越はアートホテル上越の会場に、おおむね月3回程度開催しています。

7ページで、これまで行われた講義から4コマをピックアップして内容の概略を紹介しています。

特養などの高齢者施設、訪問介護、障害者の支援施設、こども園 など

職員が
お願いや苦情を
聞いてくれない

職員の言葉遣いや
言い方がキツく
嫌な思いをしている

施設内でケガをしたが
職員の説明や対応に
納得できない

福祉サービスについて、事業者にも相談しても解決しない、また、話しにくい場合は

新潟県福祉サービス運営適正化委員会

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL.025-281-5609

相談無料 秘密厳守

FAX.025-281-5610

メールアドレス kujou@fukushiniigata.or.jp

言葉遣いは心遣いである。
相手が大事にしていることを
知った上でそれを尊重し、自
分から心を開いて相手の心を
開くよう努めたい。
相手の話を上手に聞くこと
も大切。相手に共感したり相
づちを打ったりして肯定的に
接することが心を開くことに
つながる。心で思っているだ
けではなく、言葉や態度で相
手に思いを届けよう。

菊野 麻子 講師

Kアプローチ代表



豊かな人間関係を築くコミュニケーション術



石井 玲子 講師

新潟県立大学人間生活学部
子ども学科教授

西洋音楽の魅力
演奏や映像を交えてクラシック音楽を楽しむ

中世では、音楽は「神の言葉」
を伝えるための祈りの手段
だった。「グレゴリオ聖歌」が
西洋音楽の出発点。
その後ルネサンス、バッハ
に代表されるバロック、モー
ツァルトやベートーヴェンな
どの古典派、シューベルトや
ショパンなどのロマン派を経
て、20世紀には印象派や12音
技法などそれまでの常識を覆
す音楽が次々登場した。

— 講義の様子、ちょっと拝見 —

介護とは、その人らしく自
尊心を持てる生き方を支援す
ること。本人の残存機能をい
かすことが大事だ。利用者本
位で介護保険制度を活用して
ほしい。
「新しい認知症観」は、互
いの人格と個性を尊重しなが
ら支え合う共生社会をを目指
している。介護者も頑張りす
ぎず、気持ちに余裕を持って
地域と力を合わせてほしい。

山田 美恵 講師

新潟県介護福祉士会 副会長



介護の基本と認知症

認知症サポーター養成講座を通して



古川 理志 講師

新潟勤労者医療協会
健康運動指導士

現代人の不調の大きな要因
は、同じ姿勢を長時間取り続
けることからきている。65歳
からの高齢期には、生活習慣
病の予防と共に生活機能低下
の予防が重点課題となる。
高齢者の健康づくりには、
個人差を踏まえ強度や量を調
整し、可能なものから取り組
むことが大事。座位行動を減
らし歩行以上の活動を増やす
ことだ。

運動による健康づくり

私たちの仕事、紹介します

- 1 -

校生も対象としています。

介護現場でアルバイトを経験することは就活にも役立つことが期待されます。面接で「学生の時に力を入れていたことは何ですか?」と質問されて、「介護施設で働いていました」と答えられれば、ちよつとしたアピールになるかもしれません。

ニケーションを中心とした介護の「周辺業務」を担う学生アルバイトを募集しています。このため福祉の専門的な知識がなくても始めることができるのが特長で、大学や専門学校生のほか、高

介護施設でのアルバイトは、「ありがとう」という言葉を直接いただける仕事です。その言葉でやる気が生

葉でやる気が生ま
まれ、きつと温
かい気持ちにな
ることができ
るでしょう。

事業所にとつてもアルバイトは貴重な若手戦力として期待されています。ある高校生は、特



初心者歓迎、就活に役立つかも？

担当者からPR

核家族化が進む中、おじいちゃんやおばあちゃんと関わる機会のない若者が増えていきます。だからこそ、学生の皆さんに介護を正しく知ってほしいです。

（福祉人材センター・とがし）



事は考えていないという学生さんも大歓迎です。まずは介護を知りきっかけとして始めてみてはいかがでしょう。(福祉人材センター・とがし)



AIが普及しても、介護は人でなければできない心の通った仕事だと思えます。アルバイトを機に将来の選択肢になればこれほどうれしいことはありませんが、介護の仕事

この似顔絵は、NPO法人支援センターあんしん（十日町市）の江口さとみさんが制作しました。

別養護老人ホームで週1〜2回、利用者とのコミュニケーションを中心に働いています。事業所の担当者は「初めはなじめるか心配していたが、最近では笑顔が出てきて安心している。長く勤めてほしい」と話します。利用者にとっては孫のような年齢で非常に好評だそうです。

【メモ】学生の介護職場アルバイトマッチングは、福祉人材センターの特設サイトに7月10日現在、県内介護施設の求人51件掲載。どの求人も、短時間や週1回からOKなど学生に配慮したものになっています。専用フォームから申し込むことができます。掲載の二次元コードをご利用ください、問い合わせは新潟県福祉人材センター、025（281）5523へ。



日々の介護に疲れ

認知症と疑われた

令和7年度に新潟県認知症コールセンターへ寄せられた相談実績は、相談者数404人と前年度より若干増加しました。1件の相談には多岐にわたる内容が含まれることから、延べ1061件の相談内容に対応しました。

相談内容は、物取られ妄想が現れたことや威圧的な態度を取るようになったことなど、認知症状の進行に伴う行動・症状対応について、また、日々の介護を通して心身疲労を訴える介護者側の相談を多く受けました。それらの背景には、家族の不和が隠れており、認知症のご本人を取り巻く家族関係に関する相談が一番多く寄せられています。

県認知症コールセンター
令和7年度相談まとめ

他には、ご家族から認知症を疑われたことによる、やるせない気持ちを吐露する高齢者や在宅介護の限界、運転免許に関する相談も寄せられています。

介護の悩みは一人で抱えず、他の家族や親戚、知人、福祉施設職員、当センターなど、誰でも、どこでもよいのでまずはその抱えている気持ちを声に出してみてください。

当センターは、福祉の有資格者や介護の経験者が相談員を担い、認知症の方やその家族が抱えるさまざまな心配ごとや悩みごとを電話や面談でお受けしています。お気軽にご相談ください。

■ 相談分類別件数

(単位：件)

合計	保健・医療 275件(25.9%)							介護・介助 363件(34.2%)				福祉サービス 122件(11.5%)				経済・生活 48件(4.5%)				権利擁護 26件(2.5%)				家族・家庭 227件(21.4%)							
	その他	若年性認知症	認知症予防	認知症への不安	医療関係機関	医療相談	精神衛生	その他	ストレス・心身疲労	介護・介助方法	行動・症状対応	その他	施設・機関・窓口	障害福祉サービス	介護保険・サービス	その他	自動車運転	趣味・余暇活動	仕事	保険・年金・手当	生計	その他	人権	虐待	成年後見	相続・財産	その他	近所・地域	夫婦	家族	人生(単身)
1061	5	2	7	110	22	79	50	11	164	31	157	3	24	3	92	11	13	2	8	6	8	2	7	4	3	10	7	18	13	170	19

『認知症』早期発見のめやす

《出典／公益社団法人認知症の人と家族の会》

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

●もの忘れがひどい

☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる

☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する

☐ 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている

☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった

☐ 6. 新しいことが覚えられない

☐ 7. 話のつじつまが合わない

☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった

☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった

☐ 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった

☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする

☐ 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

☐ 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする

☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる

☐ 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった

☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

☐ 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

《いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。》

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか？ ～お気軽にご相談ください～

新潟県認知症
コールセンター

相談電話

025-281-2783

にいがたなやみ

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)

【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

新潟県社会福祉協議会 令和7年度事業実施報告

事業実施概要

本会では、共に生き共につくる福祉社会を目指すことを基本理念として、5つの基本方針と14の推進目標を掲げ、新たなニーズへの対応や様々な地域生活課題の解決に向けた取り組みを一層推し進めるため、多様な関係機関・団体等との連携を図りながら各種事業に取り組みました。

基本方針Ⅰ みんなで育む福祉のまちづくり

■ 推進目標 1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

「第75回新潟県民福祉大会」を魚沼市において開催したほか、14年目を迎えた「福祉・介護・健康フェア2025」を新潟市、上越市の2会場において開催しました。また、機関誌「福祉にいがた」「福祉にいがた オアシス21」を発行し、催事や広報を通じて福祉への理解促進と福祉の心の醸成に努めました。



県民福祉大会（11月6日）



福祉・介護・健康フェアin新潟（11月8日）

■ 推進目標 2 地域福祉活動の振興

地域福祉推進の中核的な役割を担う市町村社協の人材育成や経営基盤の強化を図るため、役職員を対象とした研修等を開催するとともに、個別訪問や情報共有会議等を実施し、課題の把握と個別支援を行いました。また、地域共生社会の実現に向けて、県との共催によるセミナーを開催し、市町村における包括的支援体制の構築に向けた取り組みの推進を図りました。

■ 推進目標 3 ボランティア活動の振興

地域の福祉課題の解決に取り組みボランティアグループ・団体に對して、「県民たすけあ

い基金」を活用した助成や企業等から寄せられる寄付金等の連絡調整や配分等を通して活動支援を行いました。また、災害時において被災地支援活動を円滑かつ的確に遂行できるよう、研修や会議の開催、アドバイザー派遣等を通して人材育成と体制の整備に取り組みました。

■ 推進目標 4 関係機関・団体との連携・支援の推進

県域福祉団体の連携（連名）による「令和8年度新潟県社会福祉政策・予算に関する要望書」を新潟県知事、新潟県福祉保健部長それぞれに手交しました。また、新潟県災害支援チーム（DWAT）においては、新たに保健医療分野を含めた一体的な連携体制の整備に向けてセミナーを開催するなど、平時からの関係づくりと災害時に迅速かつ効果的に支援活動を展開するための体制強化につなげました。



県知事への予算要望（12月25日）

基本方針Ⅱ 一人ひとりの自立生活づくり

■ 推進目標 1 高齢者の社会参加の促進

高齢者の生きがいや仲間づくり、健康づくりを推進するため、「にいがたねんりんピック」の開催や「全国健康福祉祭」への選手派遣、「シニアカレッジ新潟」における学習の機会を提供するなど、高齢者の社会活動への参加支援を行いました。



シニアカレッジ卒業式（10月28日・新潟会場）

■ 推進目標 2 高齢者への生活支援の充実

認知症コールセンターでは、認知症の当事者やその家族の相談に応じ、認知症の知識や介護技術に関する情報提供を行ったほか、精神面におけるサポートに努めました。

■ 推進目標 3 障害者の社会参加の促進

福祉施設で作る製品の展示・販売と授産事業の振興を図るとともに、福祉の店パレットでの店舗販売員業務を通じて障害者の就労体験の場を提供し、職業能力の向上と将来の就労や自立に向けた支援に取り組みました。

■ 推進目標 4 生活の安定への支援

低所得者や高齢者、障害者などの世帯に対し使途に応じた貸付を行うとともに、市町村社協や民生委員・児童委員、自立相談支援機関等との連携による相談支援を行い、生活困窮者の生活再建と自立に向けた支援に取り組みました。コロナ特例貸付では、借受世帯の生活再建を図るフォローアップ支援を継続的に取り組みました。

また、ひとり親家庭や児童養護施設等退所者には、進学や就職、資格取得等を促進するための貸付けを行い、自立に向けた支援に取り組みました。

基本方針Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり

■ 推進目標 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進

日常生活自立支援事業に携わる専門員・生活支援員の資質向上を目指す研修の開催、適正な事業運営の確保を図るために業務監督実地指導を行ったほか、利用料金の改定に向けた市町村社協との検討会議の開催、頼る身寄りがいない高齢者等への支援について県内外の社協との情報共有・意見交換などに取り組みました。

また、成年後見制度の利用促進及び権利擁護支援体制の整備・充実に向けて、専門的知見を有するアドバイザーの派遣、市町村長申立、中核機関の担当者などを対象とした各種研修・会議を開催したほか、体制整備支援等相談窓口を設置して行政機関等からの相談に応じました。権利擁護支援者の担い手拡充に向けては、各種研修・会議の開催や権利擁護支援者の養成・活躍支援の仕組みづくりの支援などに取り組みました。

■ 推進目標 2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

福祉サービス運営適正化委員会では、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決したほか、社会福祉事業者に求められる苦情解決に必要な知識等の習得、向上を目指した研修を開催しました。また、日常生活自立支援事業の適正な運営を確保することを目的に実施状況に関する調査を行うなど、事業実施主体の運営を監視しました。

基本方針Ⅳ 福祉を支える人づくり

■ 推進目標 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

新潟県福祉人材センターでは、キャリア支援専門員による細やかな相談支援の強みを生かし、求職者の個別ニーズに即した求人情報の提供やハローワークとの連携による出張相談の拡充に向けて就職支援の充実に努めました。

また、「介護施設における職場体験事業」や「親子向け介護体験会」の実施、新たに、高校生以上の学生を対象とした「介護職場アルバイトマッチング事業」を開始し、求職者にとどまらず小学生や高校・大学・専門学生など次代を担う若い層に向けて、福祉・介護のやりがいや魅力の発見、具体的な仕事内容の理解促進に努めました。

■ 推進目標 2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進 介護施設の職場体験チラシ



高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、住民向け「県民介護知識・技術習得講座」を開催しました。在宅における高齢者介護について実習等を行うとともに、福祉人材センターとの連携により求職中の受講者に対して「求職活動実績証明書」を発行するなど就職活動への支援にも努めました。

■ 推進目標 3 福祉従事者の養成と資質向上の推進

福祉人材の育成と資質向上に向けて、福祉職員キャリアパス対応生涯研修（階層別）のほか、職種や事業所ニーズに合わせた研修を全31研修(40回)を実施し、福祉従事者の知識・技術の習得に努めました。

また、介護支援専門員になるために必要な実務研修を希望する方に対して、専門知識を有しているかを確認するための全国統一試験を3会場(新潟市、三条市、上越市)において行いました。

基本方針Ⅴ 法人運営機能の強化

■ 推進目標 1 組織推進体制・経営力強化

本会の基本理念を実現するために必要な予算措置等の要望を自由民主党新潟県支部へ行ったほか、内部管理体制の基本方針に基づくコンプライアンスの徹底やガバナンスの徹底に努め、会計監査人の設置による財務規律の強化や職員の育成・資質向上に取り組むなど、組織推進体制・経営力の強化に努めました。また、新潟ユニゾンプラザの管理運営では、指定管理者として施設の保守管理に万全を期し、サービス向上に努めました。

詳しくは、URL からホームページをご覧ください。

<https://www.fukushiniigata.or.jp/about/pre/>

新潟県社会福祉協議会 令和7年度決算 資金収支内訳表

(単位:円)

会計単位／事業区分／拠点区分 等	収支等区分	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (a)－(b)
一般会計	総収入	3,184,894,000	3,209,237,021	△24,343,021
	総支出	2,496,679,000	2,504,175,023	△7,496,023
	当期末支払資金残高	688,215,000	705,061,998	△16,846,998
(1) 社会福祉事業 合計	総収入	486,042,000	486,740,487	△698,487
	総支出	408,124,000	403,645,152	4,478,848
	当期末支払資金残高	77,918,000	83,095,335	△5,177,335
①法人運営事業 (理事会・評議員会など)	総収入	86,663,000	86,117,530	545,470
	総支出	88,864,000	87,387,357	1,476,643
	当期末支払資金残高	△2,201,000	△1,269,827	△931,173
②連絡調整事業 (要望活動、福祉団体懇談会など)	総収入	6,274,000	6,179,809	94,191
	総支出	5,056,000	4,962,229	93,771
	当期末支払資金残高	1,218,000	1,217,580	420
③企画・広報事業 (広報活動、顕彰事業など)	総収入	17,462,000	17,559,577	△97,577
	総支出	17,462,000	17,559,577	△97,577
	当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業 (成年後見制度体制整備支援事業、 市町村社協支援など)	総収入	42,747,000	42,804,811	△57,811
	総支出	42,747,000	42,804,811	△57,811
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑤高齢者福祉活動推進事業 (明るい長寿社会づくり事業など)	総収入	72,421,000	72,508,000	△87,000
	総支出	72,421,000	72,508,000	△87,000
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑥障害者福祉活動推進事業 (福祉の店パレット新潟店など)	総収入	16,247,000	16,330,856	△83,856
	総支出	9,880,000	9,997,678	△117,678
	当期末支払資金残高	6,367,000	6,333,178	33,822
⑦福祉サービス利用支援事業 (日常生活自立支援事業など)	総収入	68,174,000	68,052,955	121,045
	総支出	68,174,000	68,052,955	121,045
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑧福祉従事者確保・就労促進事業 (福祉人材センター事業、 福利厚生センター事業など)	総収入	63,265,000	62,860,064	404,936
	総支出	63,265,000	62,860,064	404,936
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑨共同募金配分金事業 (福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)	総収入	10,656,000	10,659,000	△3,000
	総支出	10,656,000	10,659,000	△3,000
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑩助成事業 (福祉施設への助成)	総収入	34,252,000	34,926,825	△674,825
	総支出	34,252,000	30,879,325	3,372,675
	当期末支払資金残高	0	4,047,500	△4,047,500
⑪基金管理運営事業 (県民たすけあい基金など)	総収入	103,472,000	103,767,097	△295,097
	総支出	30,938,000	31,000,193	△62,193
	当期末支払資金残高	72,534,000	72,766,904	△232,904
(2) 公益事業 合計	総収入	2,595,195,000	2,617,800,447	△22,605,447
	総支出	1,968,511,000	1,983,368,421	△14,857,421
	当期末支払資金残高	626,684,000	634,432,026	△7,748,026
①福祉従事者養成・資質向上事業 (社会福祉研修センター事業)	総収入	32,959,000	32,965,135	△6,135
	総支出	16,661,000	16,839,626	△178,626
	当期末支払資金残高	16,298,000	16,125,509	172,491
②介護支援専門員養成・資質向上事業 (ケアマネ実務研修受講試験事業)	総収入	22,096,000	22,099,696	△3,696
	総支出	12,818,000	12,830,812	△12,812
	当期末支払資金残高	9,278,000	9,268,884	9,116
③福祉従事者退職共済事業 (民間退職積立基金事業)	総収入	1,597,073,000	1,612,539,183	△15,466,183
	総支出	1,597,073,000	1,612,539,183	△15,466,183
	当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業 (介護福祉士等修学資金など)	総収入	943,067,000	950,196,433	△7,129,433
	総支出	341,959,000	341,158,800	800,200
	当期末支払資金残高	601,108,000	609,037,633	△7,929,633
(3) 収益事業 合計	総収入	114,483,000	115,696,375	△1,213,375
	総支出	130,870,000	128,161,738	2,708,262
	当期末支払資金残高	△16,387,000	△12,465,363	△3,921,637
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	114,483,000	115,696,375	△1,213,375
	総支出	130,870,000	128,161,738	2,708,262
	当期末支払資金残高	△16,387,000	△12,465,363	△3,921,637

※社会福祉法人会計基準により内部取引を相殺消去して表記しているため、各事業間の合計は一致しません。

※総収入額に前期末支払資金残高を含めています。



赤い羽根情報

羽毛布団リサイクル 1枚回収、100円寄付

東洋羽毛北信越販売(株)様のご協力により、不要な羽毛布団をリサイクルに出すことで、1枚につき100円の寄付になる「募金百貨店」の取り組みを実施します。

これはリサイクルに出すことで、お住まいの地域の福祉課題を解決するためのさまざまな福祉活動に協力・参加できる仕組みとなっています。

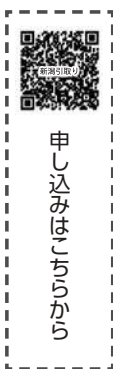
回収料金は無料です。お申し込みいただくと宅配キットが届

東洋羽毛「募金百貨店」

き、宅配業者が集荷に伺います。

詳しいチラシをご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。ご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ先は新潟県共同募金会、025(281)5532。回収については東洋羽毛信越販売新潟営業所、(0120)300060までご連絡ください。



申し込みはこちらから



羽毛布団リサイクルのチラシ

ずむ

2026

Vol.92

人のつながり

最近、コスパやタイパという言葉をよく耳にする。時間や労力のムダを省く合理的思考は便利だが、同時に、人間関係から偶然的豊かさを奪ってはいないだろうか。例えば、町内会や近所づきあいを「めんどくさい」と

手放し、その結果、何が起きているのか。子育ては家庭だけの責任になり、高齢者の孤独は福祉サービス、防災は行政、地域の安心は警備や制度で買うものになった。それらをお金やサービスで代替し、社会的な負担は増している。かつての「めんどくさいもの」は、実は困った時に助け

「面倒」から「面白い」へ

合える人間関係の蓄積であり、地域を守る大切なインフラでもあった。

今、必要なのは、面倒くさい共同体を「面白い共同体」へアップデートすることなのではないか。人と人がつながる摩擦を減らし、誰もが自分の役割を持てる、参加したくなる地域づくりが求められている。



制度やサービスだけでは地域は変わらない。最後はやはり「人」。「これ、面白いよ」「一緒にやろうよ」と本気で動き出す人を応援し、孤立させない。そんな温かい器を地域の中に作っていくことが、私たちの役割ではないか。「めんどくさい」は社会が生きている証拠。その中にある価値を現代の形に紡ぎ直し、参加すると人生がちよっと豊かになると共同体をつくっていかたい。（貴浩）

※県社会福祉協議会スタッフが、日々の体験や思いなどをつづります。

令和8年度版

社会福祉法人等が経営、運営する
福祉施設・事業の賠償・傷害事故と、
法人の経営にともなうリスクを
幅広く補償します。



しせつの損害補償

「しせつの損害補償」に新たな加入方式「法人包括プラン」ができました。従来の「しせつの損害補償（施設単位加入）」と「法人包括プラン（法人包括加入）」のいずれかを選択・加入できます。

法人包括プラン NEW

第1種
社会福祉事業

第2種
社会福祉事業

全ての
施設・事業を
自動補償

収益事業

公益事業

「法人包括プラン」は、福祉施設・事業を経営・運営する社会福祉法人が加入対象です。（社会福祉協議会を除く）

ポイント1 安心

福祉施設（事業）の明細要らずで、全ての福祉施設・事業を賠償事故からまとめて補償

ポイント2 便利

期中で新たに始めた福祉施設（事業）も手続き不要で自動補償

ポイント3 簡単

契約時は全ての入所型・通所型施設の合計定員数の申告のみ（保育所は別途加入）

しせつの損害補償 （従来の加入方式）

従来のしせつの損害補償は、社会福祉法人、社会福祉協議会、公立福祉施設（自治体）、NPO法人、公益社団法人、公益財団法人が加入対象です。

「法人包括プラン」・「しせつの損害補償（従来の加入方式）」ともプラン1～4は、共通内容です。

プラン1 施設業務の補償

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

見積作成・加入手続きは簡単便利なインターネットから!!

PCからの場合は、[ふくしの保険 検索](https://www.fukushihoken.co.jp/)
<https://www.fukushihoken.co.jp/> よりアクセス!!



スマートフォンやタブレットの場合は
こちらの二次元コードよりホーム
ページにアクセスしてください。



● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

(SJ25-11172 より抜粋)

30年ぶり県内開催

長岡 2日間で2000人

全国ナイスハートバザール

6月6日と7日の両日、長岡市の道の駅ながおか花火館で「全国ナイスハートバザールにいがた2026 in ながおか」が開かれました。全国規模のナイスハートバザールが新潟県内で開かれるのはおよそ30年ぶりです。

このイベントは、全国の障害者就労支援施設等で作られている商品の販売会で、北は北海道から南は九州まで、さまざまな地域の施設から出展していただきました。

当日は空模様が心配され

ましたが、オープニングまでには回復。日差しも強くなる中、子ども向けコーナーやワークショップ、マジックショーやダンスショーなどさまざまな催しを行いました。2日間合わせておよそ2000人が



心配された天気も回復し、2日間で約2000人が訪れた会場



子供たちの人気を集めたマジックショー



興味深そうにワークショップに参加する子供たち

来場し、大盛況のイベントとなりました。
 次回のナイスハートバザールは、新潟市中央区の古町で10月24日(土)と25日(日)に開催予定です。それに先立ち、23日には県庁内でも行います。ぜひ奮ってご参加ください！

みんなで守る 新潟のいのち

新潟県自殺対策推進月間
 = 9 月 =

新潟県は、毎年9月を「自殺対策推進月間」と定めています。今年もメディアやweb広告、横断幕やポスター掲示などを通じて自殺防止を訴えたり相談窓口の周知に努めたりするなど、さまざまな啓発活動を予定しています。

厚生労働省の人口動態統計(概数)によると、令和7年の新潟県の自殺者数は前年より33人減って393人。人口10万人当たりの自殺者数を示す自殺死亡率は全国5位の19.2でした。昨年の2位から少し順位は下げたものの、全国平均の15.5を上回る高い水準で推移し

ています。

こうした状況を受けて県は、国が定める「自殺予防週間」(9月10日～16日)を1カ月に拡大。「みんなで守る 新潟のいのち」のコンセプトの下、市町村や関係機関と連携しながら防止に力を入れています。

県障害福祉課いのちとこころの支援室では「周囲の人の様子に異変を感じたら、声を掛けて寄り添い、話を聞き、相談窓口をお知らせしてみてください」と、支援につながるゲートキーパーとしての役割を担ってもらえるよう、県民に広く呼び掛けています。



新潟県の自殺予防キャンペーンキャラクター「みまもリン」。お腹の電話番号は県こころの相談ダイヤル(365日24時間対応)



各種相談窓口は
 こちらから

9月・上越、11月・新潟

「福祉の祭典」にぎやかに



「人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために」をテーマに、「福祉・介護・健康フェア2026」が9月に上越市、11月に新潟市で開かれます。

新潟日報社、県社会福祉協議会、開催地の市社会福祉協議会の主催で毎年開催し、講演やセミナー、農福連携イベントなど多彩なプログラムを展開します。

【上越】9月12日（土）、高田城址公園オーレンプラザ。ゲストは、地元上越市出身のパリンピック水泳選手で、東京（21年）とパリ（24年）の2大会に連続出場した石浦智美さん。

【新潟】11月7日（土）、中央区の新潟市産業振興センター。ゲストはタレントの副島淳さん、お笑い芸人の鳥居みゆきさん、バイオリニストで元パラ水泳日本代表の伊藤真波さん。

写真⑥ 子供たちの人気を呼んだお仕事体験 2025年11月8日・新潟市産業振興センター
写真⑦ 2025年9月20日・上越市の高田城址公園オーレンプラザ

パレット新潟店営業日

2026年 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

福祉の店
パレット情報

◆次回の「福祉にいがた」第887号は10月1日（木）に発行します。

編集後記

人と競ったり自分だけ立ったりするのが嫌い。引っこ込み思案で自己PRが苦手。でも真面目で忍耐強く情が深く、郷土愛は人一倍強い。一般的な新潟県人のイメージは、こんなところでしょうか。そんな新潟県人の一員である県社会福祉協議会スタッフを誌面に登場させ、自分たちの取り組みを顔が見えるかたちで読者に直接アピールできないか。今号8ページの新企画「こちら県社協」私たちの仕事、紹介します」は、そんな狙いでスタートしました。名前や顔をどこまで公表するか。事業によっては担当者個人が前面に出ない方がいいと思われるケースもあります。企画の立ち上げに当たり職場の反応はさまざまでした。先に述べた県民性の影響もあるかもしれませんが、話はそう簡単には進みませんでした。春先から慎重に議論を重ねてようやく落ち着いたのがこのスタイルです。似顔絵は、結果的に顔写真よりも親近感を出せたのではと自負しています。毎回ある程度の統一感には保ちつつ、今後はケースバイケースで柔軟に対応しながら定着させたいと考えています。長年掲載しているコラム「すゝむ」と併せ、読者との距離を少しでも縮められたらうれしい限りです。

私たちが腕によりをかけて仕込んだ「手前みそ」、これからいろいろな味を提供します。ぜひご賞味ください。（橋）

Printing & Planning

JOEMAY

www.joemay.co.jp

株式会社 ジョーメイ

印刷 販売促進 企画制作 マルチメディア

本社

〒950-0807 新潟市東区木工新町1193

TEL.025(272)0707(代) FAX.025(272)0717

東京オフィス

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル9F

TEL.03(6264)4123 FAX.03(6264)4124

Things.

新潟のウェブマガジン
things-niigata.jp

MY PLACE / MY PLEASURE

まいぷれ にいがた

地域ポータルサイト
niigata.mypl.net

福祉にいがた

オアシス21

第112号 令和8年8月発行

発行・編集 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
制作 株式会社 ジョーメイ

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2-2（新潟ユニゾンプラザ3階） TEL.025(285)1400

〒950-0807 新潟市東区木工新町1193 TEL.025(272)0707 ISSN 2188-9538